

第5回 土淵地区のふれあいと賑わいのあるまちづくり懇談会

日 時：令和4年7月30日（土）午後2時から午後3時まで

場 所：土淵地区活動センター（体育館）

出席者数：土淵地区等住民 16名

司 会：岡市市長公室長

- 1 開 会
- 2 副市長挨拶 藤澤副市長
- 3 土淵地域活動推進協議会長挨拶 田沼徳一会長
- 4 懇 談（盛岡市からの説明について、7/29(金)と同内容のため記載を省略）

質疑応答

発言者	内 容
参加者A	廃棄物エネルギー利活用・環境対策等懇話会の件で、第3回の先進地ヒアリングの状況を具体的に教えてください。
環境部長	地域振興に重点を置いて意見や説明を受け、印西地区は、地域の人たちが株式会社を立ち上げ、地域振興をやっているという中身でした。人口減少（という地域の課題）もあったので、積極的に取り組んでいるというお話を伺ったところです。川越（市）はどちらかと言うと一般的な施設整備で、公園の中に廃棄物エネルギーを使った施設を造って地域振興を図っているという中身です。
参加者B	廃棄物エネルギー利活用・環境対策等懇話会の学識経験者2名と住民代表9名のメンバーを教えてください。
環境部長	学識経験者2名は国の研究所の先生と廃棄物関係の協会の会長と、住民代表9名は、土淵地域活動推進協議会から3人と、それぞれ地域6地区からお一人ずつ出ている構成です。
参加者B 【追加質問】	廃棄物エネルギー利活用・環境対策等懇話会について具体的な内容は住民に知らされていますか。
環境部長	廃棄物エネルギー利活用・環境対策等懇話会は要約をして市のホームページに掲載しております。ただ、今掲載しているのは1回と2回で、3回、4回については出席した方に（内容）確認を取っており、できるだけ早く御覧いただきたいと思っております。チラシ配布はしていません。
参加者B 【追加意見】	市のホームページなんて興味ある人でないと見ないですし、ちゃんと地区の住民に分かるようにお知らせしないといけないです。（上厨川地区のまちづくりを考える会の）ワークショップにも関わっていたのですが、こういうのをちゃんと分かっていたら話合いも違っていたのではないかと

	<p>思います。地区で関わっている人が少ないなと感じます。10年後の話ですし、若い人たちがもっと地域で交流したほうが良いと感じます。</p>
環境部長	<p>若い方たちにもできるだけ来ていただきたいと同じように思います。情報の周知についてはおっしゃるとおりで、どのような方向でできるか考えながら進めていきたいと思います。また、まちづくりの方でやっている検討会（上厨川地区のまちづくりを考える会）と連携を取っていきたいと思っています。</p>
参加者 A	<p>交通対策の件で、長橋踏切は、朝晩混んでひどいらしいです。例えば朝に橋の堤防から来る道路の右折車と、真っ直ぐの道路からの車とでやりとりが大変らしいです。朝と晩、堤防の方を一方通行にして、橋に真っ直ぐ入る交通路線にできないものでしょうか。ぜひ交通のスムーズな形になるよう御検討いただければと思います。</p>
建設部長	<p>今の現場の状況は理解しておりまして、交通整理の件は警察が担当になりますが、前潟駅ができた後も周辺の交通の状態は継続して調査していきたいです。その中でそのような規制をしたほうが周辺の交通がスムーズにいくのかなど、皆様の意見も伺いながら対策の検討をさせていただきたいです。</p>
参加者 C	<p>もう少し西バイパス（の北側）の延長のことを考えてほしいです。そうすれば仮に焼却場ができて大型（の車）がどんどん来ても、私らの気持ちとしても楽になります。</p>
建設部長	<p>西バイパスの方の状況を話しますと、今46号に取り付く西大橋の辺りが2車線になっています。南イオンの方は4車線でできていますが、途中から2車線になっています。そこを国土交通省で4車線化の工事を進めています。国ではこれを令和7年度完了見込みと公表しています。もう1つこの西回りバイパスさらに南側で、盛岡(南)インターチェンジ付近まで4車線の道路が続いていますが、そこから先を盛岡南道路と呼んでおりまして、中央卸売市場と今野球場を造っていますけれどもその間を抜けていく道路の、令和4年度新規事業化を国で着手し、測量調査することになりますが、そういったことについても長い間要望していたことが、ようやく実ってきました。そうしますと今度はこちらの北の方も重要度も段々と高まってきているのだと認識していますので、粘り強く北についても要望してまいりたいと考えております。</p>
参加者 C 【追加質問】	<p>4車線になった時、またその線路でズバツとかそういう（車線が途切れるような）ことのないようにお願いします。</p>
建設部長	<p>おっしゃるとおり前潟駅の上空を上越しして、鉄道を越えていくようなバイパスですので、やはり周辺渋滞の解消の決定打であろうと認識してい</p>

	ますので、今後、一生懸命要望活動を展開してまいります。
参加者C	(協議会名に) し尿処理とあります。計画や予定地はあるのですか。前潟に造りますか。
環境部長	し尿処理についての広域(化)の話は、今行っておりません。今はそれぞれ盛岡地区衛生処理組合と、盛岡北部行政事務組合が処理しており、その2施設を継続して使っていくので、統合する話はしておりません。(前潟には) 造りません。
参加者C 【意見】	廃棄物エネルギーの活用について、私はごみ関係に、この新エネルギーを使わなければならないと思います。地域の住民のために(地域振興施設を) やらなくて良いです。お金が掛かるので。
参加者C	最後にごみ関係で、(土淵地域活動推進協議会) 会長、住民投票やりますか。ごみ問題(について)。極端に言うと、ここに持ってくるかこないか。
土淵地域活動 推進協議会長	現在私の考えとしては、住民を二分するような住民投票は一切考えておりません。
参加者D	人口も日本全体の歳入も減って、各地で廃線の動きがあるのに、前潟はようやく駅を造るところで、世の中の動きと(前潟駅整備) 事業の実施との間にずれが出てきているのが残念です。時代の流れとの違いについて、お考えを御説明ください。
建設部長	確かに最近、全国的に廃線の報道もあります。ただ前潟駅はJRでも地域を調査した上で、利用者が見込めるということで前潟駅(設置) を受けていただけました。今廃線が増えている、沿線にもいないような所だと、利用が見込めないため、議論されていますが、こちら(前潟駅周辺) はある程度人口も集積していますので、逆に交通渋滞の緩和のため、朝夕の通勤通学を鉄道にすることによって、環境の負荷も軽くなります。また、公共交通政策としては特に少子高齢社会になりますと、運転免許の返納という問題があり、公共交通をますます充実させていかなければなりません。なお、これからの人口減少社会の中で、国の施策として、コンパクト・プラス・ネットワークといい、地域の拠点がそれぞれにあり、そこをネットワークで鉄道あるいはバス交通で結んで都市構造を造っていくことが展開されています。盛岡市もそういった流れに沿って計画を作っているところで、前潟駅には是非とも、皆様に御利用いただいて、ますますこの地域が発展していくよう期待を込めて整備を進めています。

— 終 了 —